



株主の皆さまへ

2021年 度
中 間 期

2021年4月1日～2021年9月30日

目 次

セブン銀行の存在意義(パーパス).....	P1
社長メッセージ.....	P2
業績ハイライト.....	P4
Topics(トピックス).....	P5
会社概要.....	P7
大株主の状況.....	P7
株主構成.....	P7

お客様の「あったらいいな」を超えて、 日常の未来を生みだし続ける。

未来の芽は、いつもお客様の想いの中に生まれる。

「セブン-イレブンに ATM があったら」そんなお客様の想いが私たちを生んだ。

はじめに、お客様の想い。それが私たちの原点。

時代とともにお客様の想いの変化し、多様化しても、私たちの姿勢は「変わらない」。

そして、そのために私たちは「変わり続ける」。

「近くて便利」、「信頼と安心」を実現するユニークな銀行として、人と社会を支え続ける新たな取組みへ。

その上で、一人ひとりの暮らしに寄り添い、金融サービスの枠を超え、独創的な新しい価値づくりへの挑戦へ。

誰よりもお客様のいちばん近くで想いを、望みを共にすること。

テクノロジーと人の力で、常識を飛び超え、その実現に挑むこと。

そして、あらゆる人にもっと便利な、日常の未来を生みだし続けること。

私たちセブン銀行は、そのために存在します。



社是

1. 私たちは、お客様に信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。



経営理念

1. お客様のニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。



社長メッセージ

株主の皆さまには平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

セブン銀行は2021年4月、創業20周年を迎えました。「セブン・イレブンにATMがあったら便利なのに…」そんなお客さまの声から誕生したセブン銀行は、「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」ご利用いただけるATMサービスの提供を通じ、安全かつ効率的な決済インフラの構築に努めてまいりました。おかげさまで、国内ATM設置台数は25,936台となり、1日約230万人のお客さまにご利用いただく社会インフラの一つへと成長いたしました。

私たちは、新たな事業・サービスの創造を通じて「社会課題解決への貢献」と「企業価値向上」に誠実かつ真面目に取組み、社会の期待と信頼に応え、持続的成長の実現に努めてまいります。



代表取締役社長 舟竹 泰昭

「パーパス」、中期経営計画を定め、第二の成長を実現する

時代は100年に一度とも言われる大転換期にあります。デジタル化が大きく進み、お客さまの行動様式も、お客さまや社会が企業に求めるものも、大きく変わりつつあります。その中で、私たちの事業もまた大きな変化が求められています。

創業20周年の節目にあたり、“お客さまの「あったらいいな」を超えて、日常の未来を生みだし続ける。”という「パーパス（存在意義）」を策定しました。このパーパスのもと、セブン銀行は、お客さまのニーズを超えて新しいサービスを提供し、社会的価値の拡大を目指してまいります。

また、変化をチャンスと捉え、第二の成長を具体化させるための中期経営計画をスタートしました。成長戦略、社会課題解決への貢献、企業変革を3つの柱とし、「近くて便利」、「信頼と安心」を実現するユニークな銀行として、人と社会を支え続ける新

たな取組みに挑戦し続けていきます。

本業であるATMプラットフォーム戦略では、ATMの新たな役割として、キャッシュレス決済の身近な入口となるATMでのスマートフォン決済事業者の現金チャージ取引を開始し、「安心・安全」な現金取引チャネルとして、好評をいただいております。さらに、現金プラットフォームからATM+（プラス）への進化を遂げるべく「第4世代ATM」への入替を順次進め、約3割、8,200台の入替を完了しました。2021年9月には「第4世代ATM」の認証機能を活用し、ATM本人確認サービスの実証実験を開始しました。従来のATMにはなかった多機能型プラットフォームとして、ATM利用の新たな可能性を広げていきます。

また、事業の多角化を進めるため、中期経営計画では、「ATM

社長メッセージ

プラットフォーム戦略」に加え、「リテール戦略」「法人戦略」「海外戦略」を成長戦略として位置付けました。

「リテール戦略」では、セブン&アイグループとの連携の強化と、UI、UXを追求したユニークな金融商品の提供を進めてまいります。2020年4月にサービスを開始した「Myセブン銀行」アプリは最短10分で口座開設手続が完了し、キャッシュカード到着前でもセブン銀行ATMで入出金、ローンサービスの取引きができるため好評をいただいております。累計ダウンロード数は、90万件を超えました。また、プリペイドカード等の事業者向けに後払い決済機能「セブン銀行後払いサービス」の提供を2021年9月より開始しました。

「法人戦略」では、これまでセブン銀行が培った信頼性の高い事務処理能力や高い水準にある認証技術、セキュリティ機能を磨き上げ、金融機関を中心とする法人のお客さまのビジネスを支援してまいります。2021年8月にマネーローダリング等を防ぐ対策の基準をつくる国際組織が第4次対日相互審査報告書を公表し、金融機関を始めとする特定事業者には、一層のマネーローダリングへの態勢強化が求められることとなりました。連結子会社の株式会社バンク・ビジネスファクトリーでは、金融犯罪対策に関する知見を活かし、銀行や新たに金融サービスに参入

する事業者に向けてマネーローダリングのシステム提供から事務運営の受託を一括して提供するサービスを展開しています。また、連結子会社の株式会社ACSiON（アクション）では、不正検知プラットフォームの「Detecker（ディテッカー）」やオンライン本人確認サービス「proost（プルースト）」の提供を拡大し、デジタル化が進む中、益々求められてくる「安心・安全」を提供できる金融インフラの確立に努めております。

「海外戦略」では、連結子会社のFCTI,Inc.による米国セブン-イレブン店舗へ設置したATMの安定稼働と収益・利益への貢献に加え、成長するアジア地域でのビジネス拡大への取組みも強化しております。インドネシアでは連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL (ATMi)が自社ATM運営を柱として事業拡大を図り、展開するATM台数は1,763台まで拡大しました。フィリピンでは連結子会社Pito AxM Platform, Inc. (PAPI)がフィリピン国内のセブン-イレブン店舗にATM設置を開始し、着実にATM設置台数および利用件数を増加させております。

このような取組みの結果、当中間期の連結業績は、経常収益674億円、経常利益150億円となりました。

注) 各種実績の数値は2021年9月末時点のものです。

株主の皆さまからのご支援にお応えして

当社では従来より、安定的な配当を株主の皆さまへの利益還元の基本方針としております。当中間期では期初の計画通り、1株当たり5.5円の配当を実施いたしました。

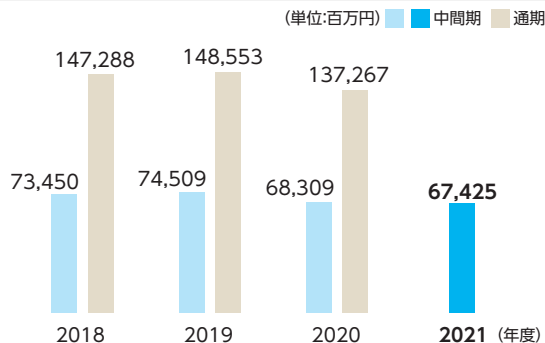
今後も社会課題の解決と企業の成長を両立させる方針のもと、新たな分野への積極的投資、インフラ事業者としての事

業継続に必要なリスクへの備えを行いつつ、株主の皆さまへの還元を着実に実施してまいります。

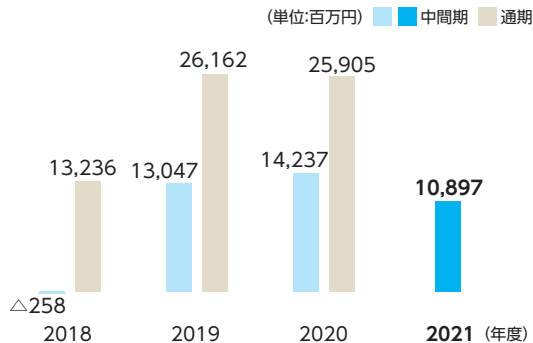
今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

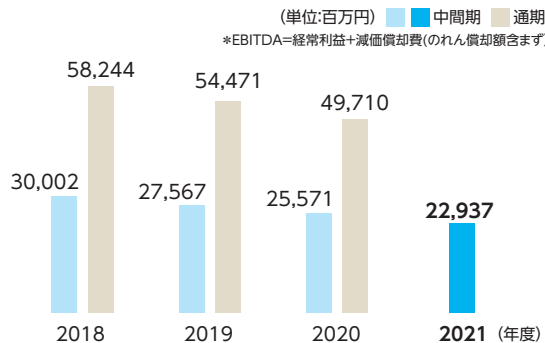
収益性 経常収益 (連結)



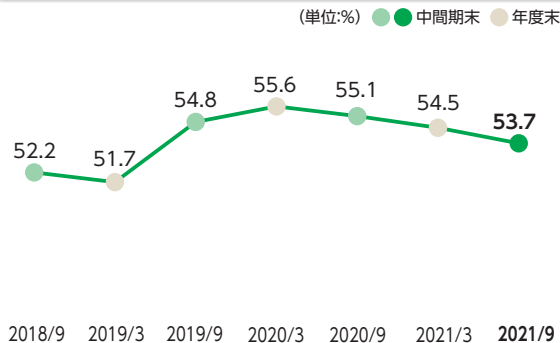
収益性 親会社株主に帰属する当期 (中間) 純利益・純損失 (連結)



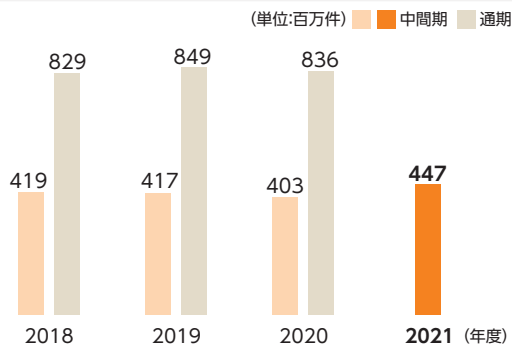
収益性 EBITDA (連結)



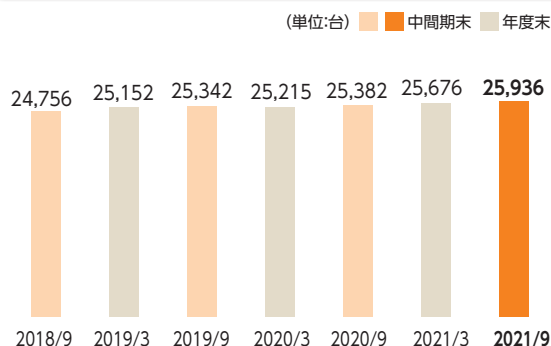
健全性 単体自己資本比率 (国内基準)



事業規模 ATM利用件数の推移 (単体)



事業規模 ATM設置台数の推移 (単体)



1 ATMの社会的価値を拡大し、 マーケットにおける圧倒的なプレゼンスの確立へ

ATM⁺ (プラス) の世界を拡大へ。ATM認証の大規模実証実験を開始しました

セブン銀行は、第4世代ATMが実装する高性能カメラや高精度の認証エンジンを活用して、本年9月より静岡銀行の住所変更等の届出手続きを受付する実証実験を開始しました。従来のATMの概念を超えたセブン銀行ATMはデジタル社会の新たなサービスプラットフォームとして、社会的価値を拡大していきます。

東京23区内の対象ATMでサービス開始



■ 新型ATMのトップ画面



↑
手続きはこちらから

■ 手続きの流れ



*QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



オンライン本人認証サービス 「proost (プルースト)」を実装

(連結子会社ACSION (アクション) が提供)

今後の拡大予定

銀行口座開設

サービス会員登録

ホテルの事前チェックイン

など

本サービスの詳細については、以下WEBサイトをご覧ください。

https://proost.io/sevenbank_atm/



2 社会課題と向き合い、 持続可能な社会の実現に貢献

社員自発型の社会貢献活動を開始しました

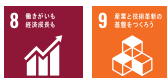
セブン銀行では、2019年度より5つの重点課題を掲げ、セブン銀行が持つ強みや経営資源を生かした取組みを推進してきました。また、2021年度は、社員自発型のCSR活動を会社が支援する新たな取組みを開始しました。

5つの重点課題の推進

1 安心安全な決済インフラの提供



2 新しい金融サービスを通じた生活創造



3 誰もが活躍できる社会づくり



4 環境負荷の低減



5 多文化共生の実現



社員自発型の社会貢献活動を開始

サステナビリティを学ぶ大学生と10のテーマで
ワークショップを開催。学びを生かし、社会課題の解決へ



会社概要 (2021年9月末現在)

名称	株式会社セブン銀行 (英名: Seven Bank, Ltd.)
本社所在地	東京都千代田区丸の内1-6-1
設立	2001年4月10日
開業	2001年5月7日
資本金	30,724百万円
発行済株式数	1,179,308千株
従業員数	503人 (役員、執行役員、パート社員、 派遣スタッフを除く)

連結子会社

- **FCTI, Inc.** (アメリカ合衆国)
事業内容: ATM運営事業
- **PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL** (インドネシア共和国)
事業内容: ATM運営事業
- **株式会社バンク・ビジネスファクトリー**
事業内容: 事務受託事業
- **株式会社セブン・ペイメントサービス**
事業内容: 送金・決済サービス、銀行代理業
- **Pito AxM Platform, Inc.** (フィリピン共和国)
事業内容: ATM運営事業
- **株式会社セブン・グローバルレミット**
事業内容: 外国人居住者向け資金移動業
- **株式会社ACSION**
事業内容: 本人確認及び不正検知プラットフォーム事業
- **株式会社Credd Finance**
事業内容: 外国人居住者向け貸金業

(計8社)

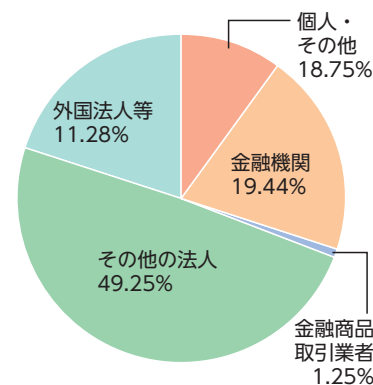
大株主の状況 (2021年9月末現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	453,639	38.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	88,247	7.48
株式会社イトーヨーカ堂	46,961	3.98
株式会社ヨークベニマル	45,000	3.81
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	39,598	3.35
株式会社三井住友銀行	15,000	1.27
第一生命保険株式会社	15,000	1.27
株式会社三菱UFJ銀行	10,000	0.84
株式会社野村総合研究所	10,000	0.84
日本電気株式会社	10,000	0.84

※1 所有株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

※2 持株比率は小数点第3位以下を切捨てて表示しております。

株主構成 (2021年9月末現在)



※小数点第3位以下を切捨てて表示しております。



最新のお知らせやセブン銀行の紹介、
IRに関するお知らせなどがご覧いただけます。
<https://www.sevenbank.co.jp/ir/>



UD FONT
by MORISAWA

